

端子台一体電流センサ

開発中

2028年量産可能

- ・端子台一体化によりスペースの効率化に貢献
- ・要求仕様に合わせて専用設計が可能(形状、電流検出範囲など)

背景・課題

用途：BEV / HEVのインバータにて変換される交流電流を測定する
課題：電動化に向けて駆動ユニット(e-Axle等)の小型・軽量化が必要

課題への解決・特徴

特徴・効果

1 電流センサと端子台を一体化し
小型・軽量化を実現

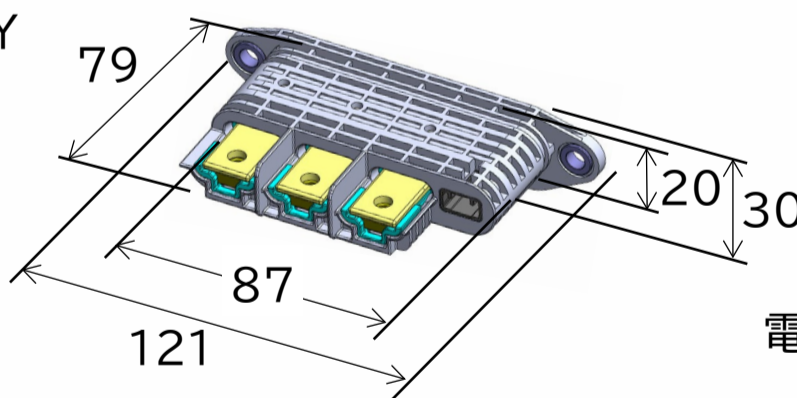
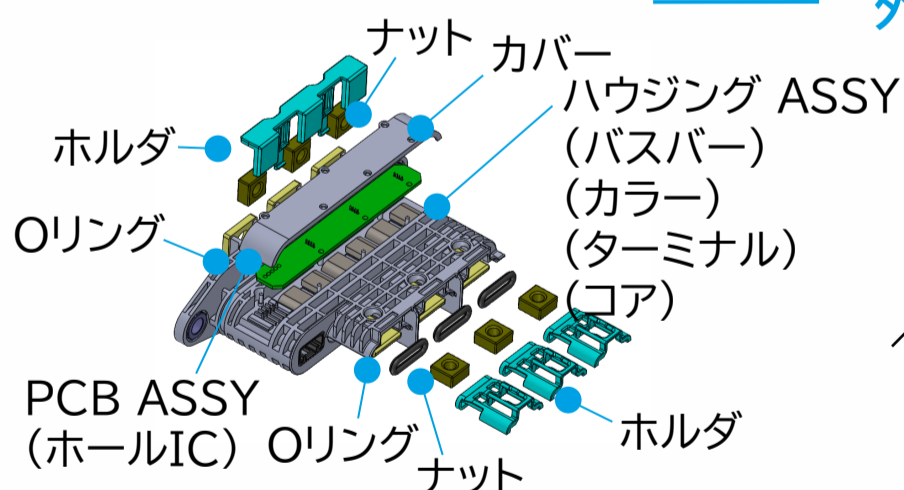
重量:343g …▲36%※
形状:121×79×30mm …▲8.9%※
※YZK従来(別体)比

2 専用設計=最小設計が可能
(形状、電流検出範囲など)

仕様・機能

電源電圧 : 5.0V±0.5V
使用温度 : -40~125℃
電流検出範囲 : ±1000A
出力精度 : ±7.5A以下(オフセット)
±2.5%以下(ゲイン)
出力方式 : アナログ(レシオメトリック出力)
応答速度 : 6μs以下
検出方式 : ホールICによる磁束密度検出
消費電流 : 42mA以下
(詳細仕様は要求仕様を元に個別に
検討させていただきます)

外観・構造



システム

